

主任児童委員・子育て支援等のプロジェクトや委員会があって、それぞれの課題に応じた対応策等を都度協議しています。」

佐野「なるほど、課題ごとに対策を協議されていることは重要な事と思います。しかし、コロナ禍にあつては、皆さんが集まる会議の開催が難しいのではないのでしょうか？」

会長「コロナ禍の活動は、一定制限が設けられています。そのため、区民児協では必要に応じて総務部会を開催し、情報や課題を共有しながら、考え方や方向性を、地区委員会に周知しています。」

佐野「確かに、総務部会は少人数ですから、コロナ禍でも開催し易い利点がありますね。」

広報担当
佐野副会長



川井会長

会長「本来は、各部会等が集まり、協議をして意見をまとめ、理事会で決めるのが原則です。しかし、今日のような緊急時の場合、例えば、子育てサロン活動と言った児童に関する事案を協議する時は、総務部会の席に児童委員活動推進部会長や主任児童委員連絡会代表の出席を求めています。当事者不在では、トップダウンになりかねません。大切なことは現場の声を聴くことですから、それを活かした対応を諮るなど、臨機な協議をしています。」

佐野「なるほど、組織としての考え方や方向性を示すことで、地区委員会としても取り組みやすいですね。」

会長「そうだと感じます。しかし、組織としての見解を示せたとしても、実践するのは各委員の皆さまです。年齢、経験値なども異なり、難しいところが多いのではないのでしょうか。」

佐野「確かにそうですね。令和元年12月1日の一斉改選で、初めて民生委員児童委員や主任児童委員に委嘱された方も多いためです。」

会長「本当に申し訳なく感じています。委員相互の顔が見える関係づくり自体が厳しい状況となっている訳ですから、新任委員の方々の不安は計り知れないと痛感しています。」

佐野「ひょっとしたら、会長の顔を知らない委員も居るかも知れませんよ！」

会長「そうかもしれませんね(笑)」

佐野「ぜひこの機会に新任の委員だけではなく、区民児協の各委員さんに向けたメッセージをお願いしたいと思います。」